

<イベントレポート>

LEXUS × ANA 「工場見学型デジタル授業」を実施

テクノロジーで距離の壁を越え、小学生の“社会科見学”をアップデート

小学五年生 84 名が東京・青山から福岡・宮田工場へ“瞬間移動”！

アバターロボット・映像通信技術を活用し、安全・インタラクティブな新しい工場見学を体験

LEXUS のモノづくりに触れた小学生たち

主催：Lexus International ・ トヨタ自動車九州株式会社

協力：ANA ホールディングス ・ ソフトバンク株式会社 ・ 凸版印刷株式会社 ・ ハーマンインターナショナル株式会社 BONX ・ 株式会社トヨタエンタプライズ

Lexus International と ANA ホールディングスは 2020 年 1 月 28 日（火）、レクサスインターナショナルギャラリー青山にて、小学 5 年生 84 名を対象に、アバターロボットをはじめとした映像通信デバイスの活用により、遠隔地にいながらクルマの製造工程を深く学ぶことができる、工場見学型デジタル授業を実施いたしました。

本体験では、日常生活の中でアバターが社会インフラとして利活用される街づくりを目指す ANA ホールディングスが開発したアバターロボット「newme（ニューミー）」を始め、遠隔地とのインタラクティブなコミュニケーションが可能なデバイスを活用し、トヨタ自動車九州の宮田工場※（福岡県宮若市）にて行われる、LEXUS 車両の製造の様子を子供たちに紹介しました。

組立工場では、製造ラインにソフトバンクの「全天候映像通話システム」や凸版印刷が開発した「IoA 仮想テレポーテーション®」を活用したカメラデバイスが入り、一般公開されていない製造の現場を紹介。同工場に併設されている PR 館では LEXUS のクルマ作りに対するこだわりや現場に息づく精神を、現地の職員が newme と共にツアー形式で紹介しました。子供たちは宮田工場で縫製の適正検査として実施している「折り紙の猫を利き手とは逆の手で折る」テストを実際に体験したほか、クルマの製造工程にまつわるクイズに熱心に答え、解説を聞いて熱心にメモを取り、楽しみながらものづくりを学びました。



Lexus International 室長 沖野和雄氏は、今回の取り組みについて、「宮田工場は遠方にあるので、最新テクノロジーでインタラクティブに子供たちに“ものづくり”を体感してもらえる機会になる。できれば日本全国のディーラーで実施し、ものづくり=LEXUS と思ってもらえたら嬉しい。ひいては、LEXUS のディーラーが文化発信拠点になることができれば良いと思います」と話しました。また、また、ANA ホールディングス アバター準備室長 津田佳明氏は「今回は代表の方 1 名がアバターを操作してもらった形であったが、今後は複数台アバターを活用し、各工程を自由に動けるようにするなど体験価値をあげていきたい。将来的には力触覚技術を用いた技術指導等でもアバターを活用していきたい。」と今後の期待を語りました。

LEXUS は本取り組みで、モビリティがますます進化する現代において幼少期からクルマやものづくりへの興味を持っていただくことや学習指導要領にも記載のある「我が国の工業産業」の体感、そして将来的には LEXUS 販売店で所有する車両もしくは購入したい車両の製造ラインを見学する機会を提供していくことを目指します。

* : LEXUS の全世界販売台数の半数以上を製造する自動車工場

◆開催概要

日時 : 2020 年 1 月 28 日 (火) 10 : 40~11 : 50

会場 : レクサスインターナショナルギャラリー青山 (東京都港区北青山 2-5-8)

参加者 : 近隣小学校 小学 5 年生 84 名

主催 : Lexus International

トヨタ自動車九州株式会社 (宮田工場)

協力企業 : ANA ホールディングス (newme)

ソフトバンク株式会社 (全天球映像通話システム)

凸版印刷株式会社 (システム構築・IoT仮想テレポーテーション®/IoTネック™)

ハーマンインターナショナル (オーディオ)

株式会社BONX (BONX for BUSINESS/音声コミュニケーションデバイス)

株式会社トヨタエンタプライズ (レクサスインターナショナルギャラリー青山運営)

◆協力企業デバイス紹介

ANA ホールディングス

newme

ソフトバンク

全天球映像通話システム

凸版印刷

IoT ネットク ™

BONX

BONX for BUSINESS



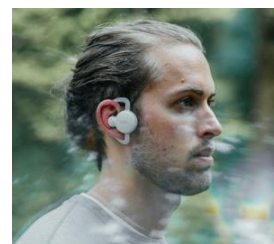
ANAHD が独自開発した普及型コミュニケーションアバター



360 度カメラを使った低遅延リアルタイム映像通話システム



東大暦本研と共同研究による 5G 通信に向けた、遠隔体験を支援するウェアラブルデバイス



「BONX for BUSINESS」距離無制限、発話検知機能等を搭載したグループトークテクノロジー